令和４年医療扶助実態統計の概要
（令和４年６月審査分）

目次

Ⅰ　統計の概要 1

Ⅱ　令和４年集計結果の概要 2

【 医療診療 】 2

１．一般診療件数の入院－入院外・傷病分類別の状況 2

２．一般診療件数の入院－入院外・年齢階級・傷病分類別の状況 3

３．一般診療件数の傷病分類・入院期間－診療期間別の状況 5

４．一般診療件数の入院期間－診療期間・傷病分類別の状況 7

５．一般診療件数の入院－入院外・病院－診療所・傷病分類別の状況 9

６．一般診療件数と日数と決定点数の入院－入院外・傷病分類別の状況 11

７．１件当たり日数と１件当たり決定点数の入院－入院外・都道府県－指定都市－中核市別の状況 13

【 薬局調剤 】 15

８．調剤行為の状況 15

Ⅲ　用語の解説 16

Ⅰ　統計の概要

１　目的

この統計は、生活保護法による医療扶助を受給している者の診療行為、調剤行為の内容、薬剤の使用状況等を把握し、生活保護受給者に対する医療対策、その他厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得ることを目的として作成する。

２　集計対象

全国の保険医療機関及び保険薬局から社会保険診療報酬支払基金支部に提出され、令和４年６月審査分として審査決定された医療保険制度の診療報酬明細書及び調剤報酬明細書のうち、「レセプト情報・特定健診等情報データベース」に蓄積されている公費単独（医療扶助）のもの全てを集計対象とした。

ただし、歯科診療の入院分は集計対象としない。

３　集計事項

診療報酬明細書の記入事項のうち、傷病名、診療実日数、診療行為別点数等の事項

調剤報酬明細書の記入事項のうち、受付回数、処方調剤、調剤点数等の事項

４　利用上の注意

（１）表章記号の規約

計数のない場合	－
表章単位の２分の１未満の場合	0, 0. 0
統計項目のあり得ない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	･･･

（２）掲載の数値は、四捨五入のため内訳の合計が総数に合わない場合がある。

（３）集計は、一次審査分であり、再審査、返戻等は含まない。

（４）診療報酬明細書及び調剤報酬明細書の集計は、記録された内容に基づき集計した結果である。

Ⅱ　令和４年集計結果の概要

【 医療診療 】

１．一般診療件数の入院－入院外・傷病分類別の状況

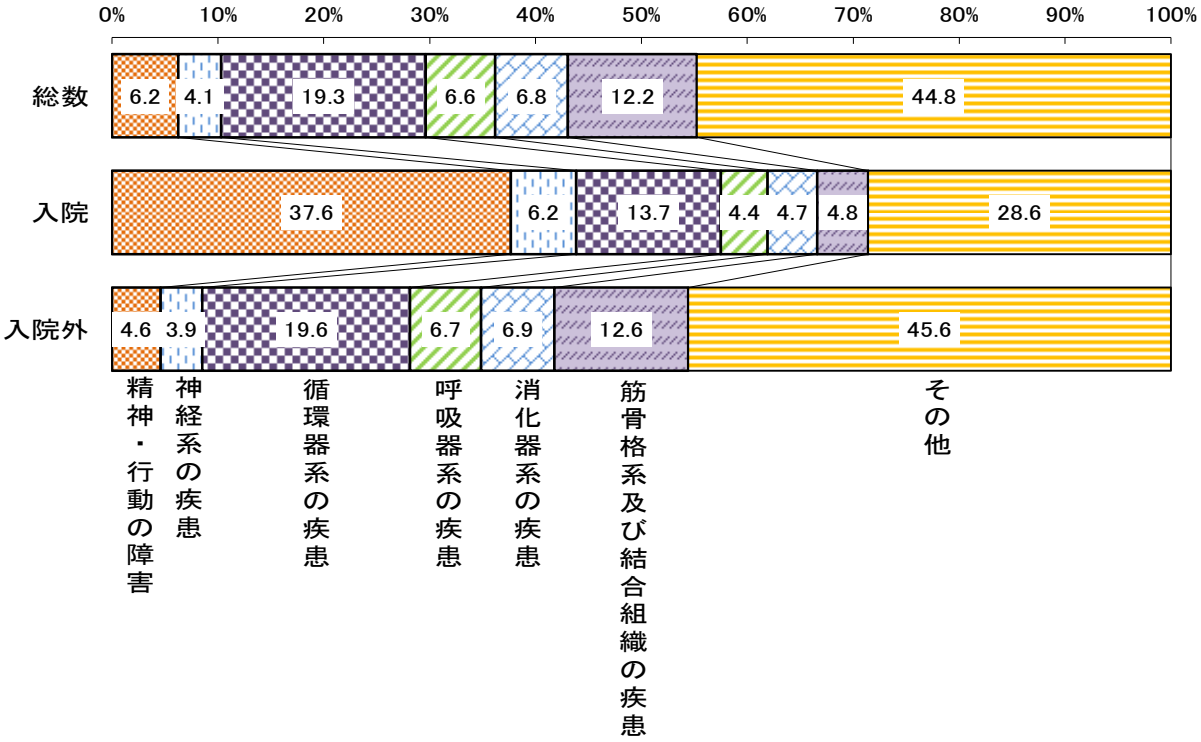
一般診療件数の傷病分類別の構成割合は、「循環器系の疾患」が 19.3%と「その他」以外では最も多く、次いで「筋骨格系及び結合組織の疾患」が 12.2%となっている。

上記の構成割合を更に、入院－入院外別にみると、入院では「精神・行動の障害」が 37.6%と最も多く、入院外では「循環器系の疾患」が 19.6%と「その他」以外では最も多い。

表１　一般診療件数，入院－入院外・傷病分類別

	件数			構成割合		
	総数	入院	入院外	総数	入院	入院外
	件	件	件	%	%	%
総数	1,797,988	90,443	1,707,545	100.0	100.0	100.0
精神・行動の障害	112,054	34,043	78,011	6.2	37.6	4.6
神経系の疾患	72,966	5,601	67,365	4.1	6.2	3.9
循環器系の疾患	347,629	12,355	335,274	19.3	13.7	19.6
呼吸器系の疾患	118,368	4,006	114,362	6.6	4.4	6.7
消化器系の疾患	122,632	4,226	118,406	6.8	4.7	6.9
筋骨格系及び結合組織の疾患	219,659	4,362	215,297	12.2	4.8	12.6
その他	804,680	25,850	778,830	44.8	28.6	45.6

図１　一般診療件数の構成割合，入院-入院外・傷病分類別



２．一般診療件数の入院－入院外・年齢階級・傷病分類別の状況

一般診療件数の傷病分類別の構成割合を年齢階級別（図２－１）にみると、0～14 歳では「呼吸器系の疾患」が 30.7％と多くなっている。「循環器系の疾患」は加齢とともに多くなり、65 歳以上においては 24.3％となっている。

上記の構成割合を更に、入院－入院外別にみると、

・入院（図２－２）では、15 歳以上において「精神・行動の障害」が多く、特に 15～34 歳では 68.0％、35～54 歳では 64.4％といずれも６割超となっている。

・入院外（図２－３）では、「呼吸器系の疾患」が 0～14 歳で 30.8％と多くなっているが、加齢とともに少なくなっている。一方「循環器系の疾患」は加齢とともに多くなり、65 歳以上では 24.8％となっている。

図２－１　一般診療件数の構成割合，年齢階級・傷病分類別（総数）

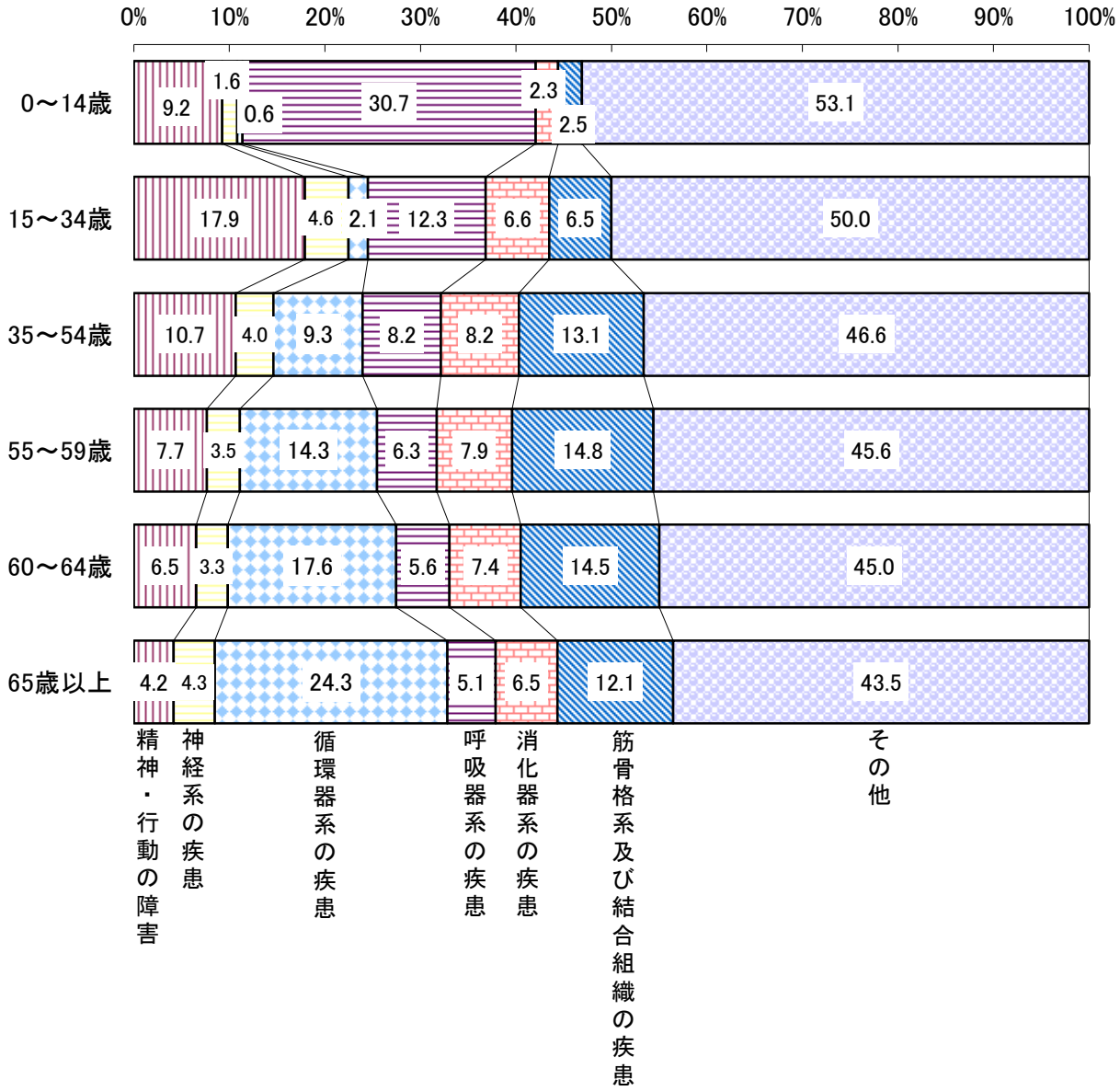


図２－２　一般診療件数の構成割合，年齢階級・傷病分類別（入院）

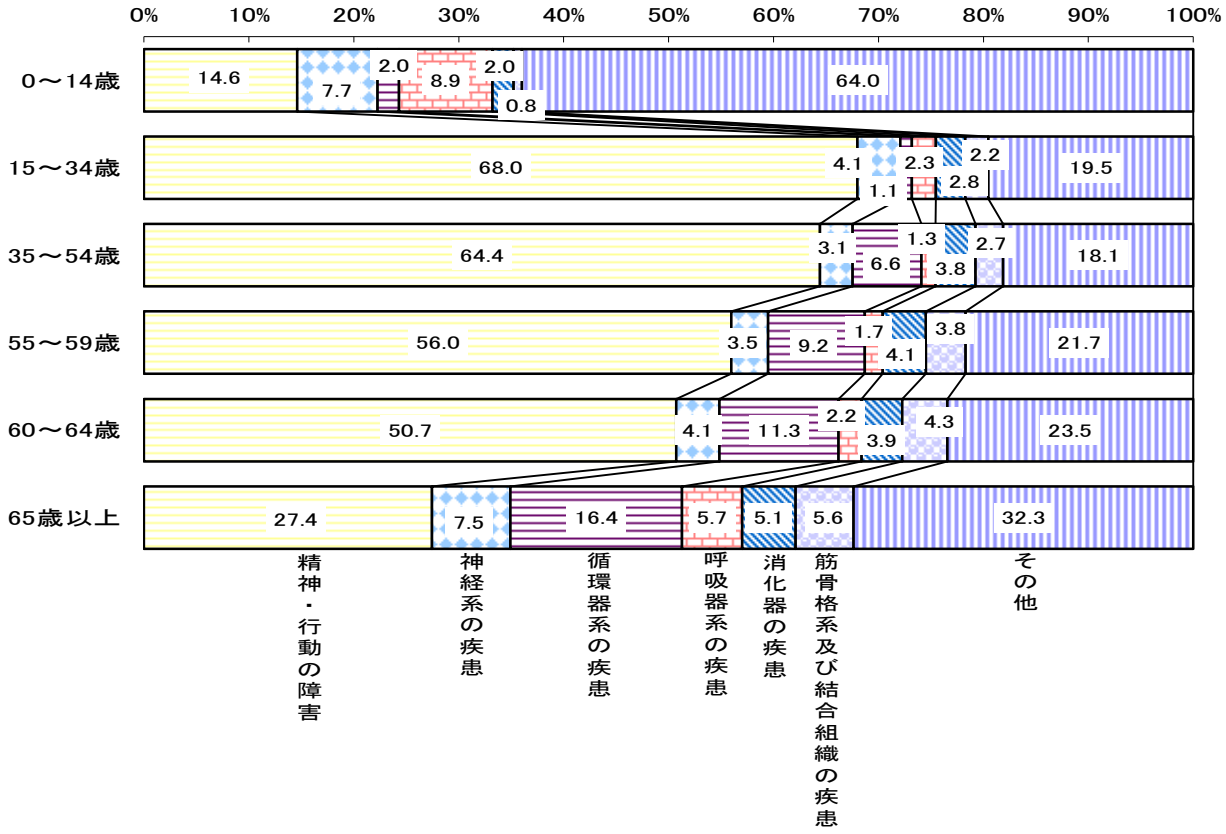
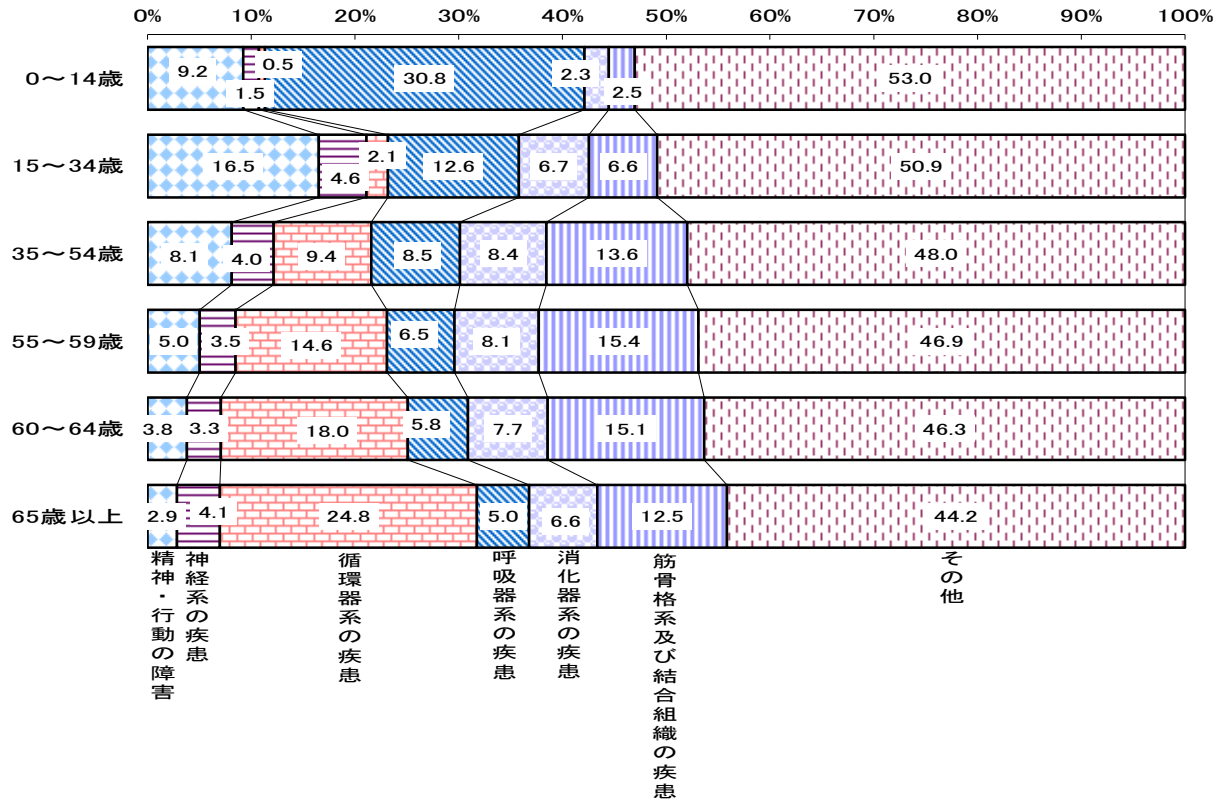


図２－３　一般診療件数の構成割合，年齢階級・傷病分類別（入院外）

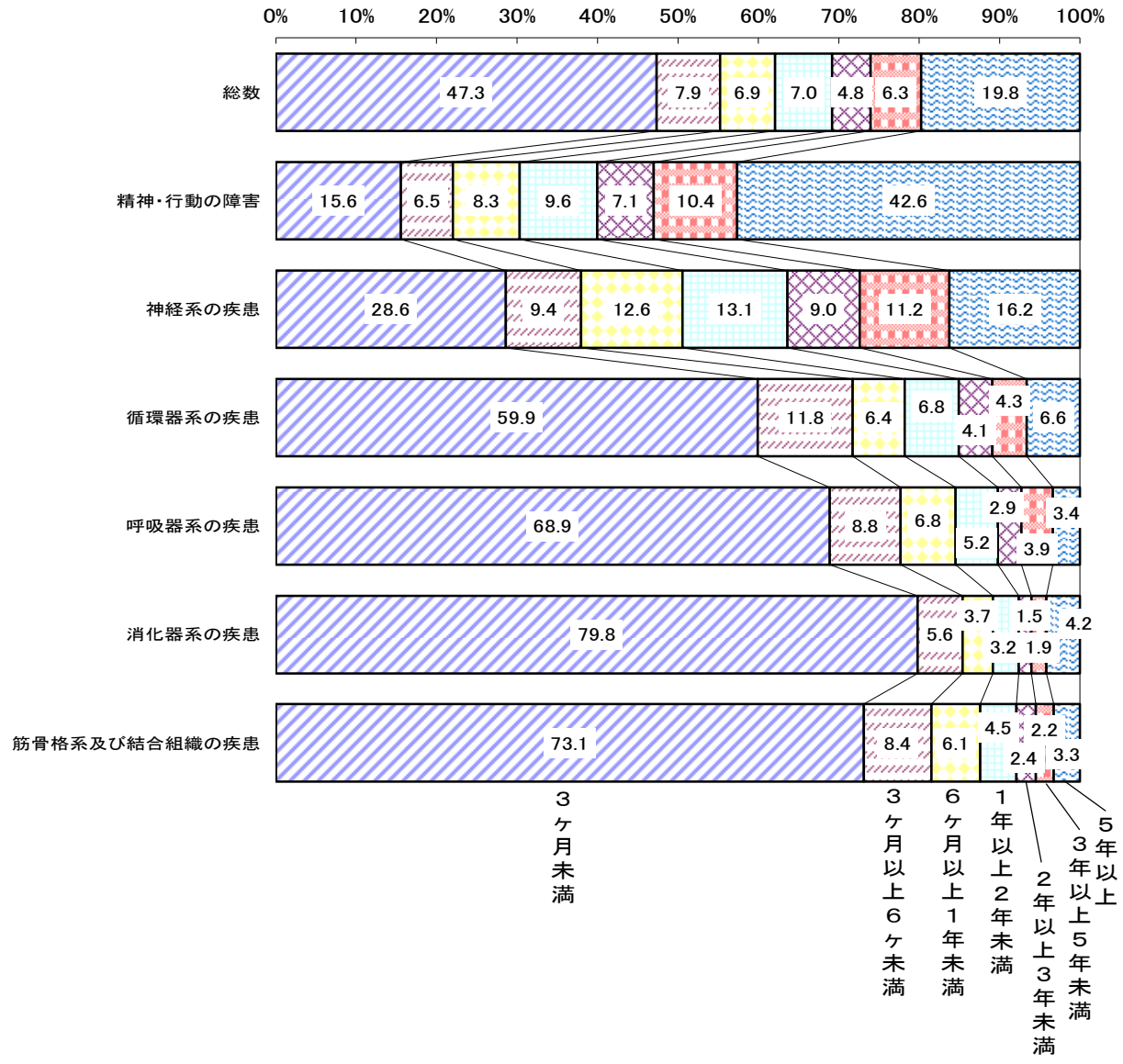


３．一般診療件数の傷病分類・入院期間－診療期間別の状況

一般診療件数の入院期間別の構成割合は、「３か月未満」が 47.3％であり、「５年以上」が 19.8％となっている。

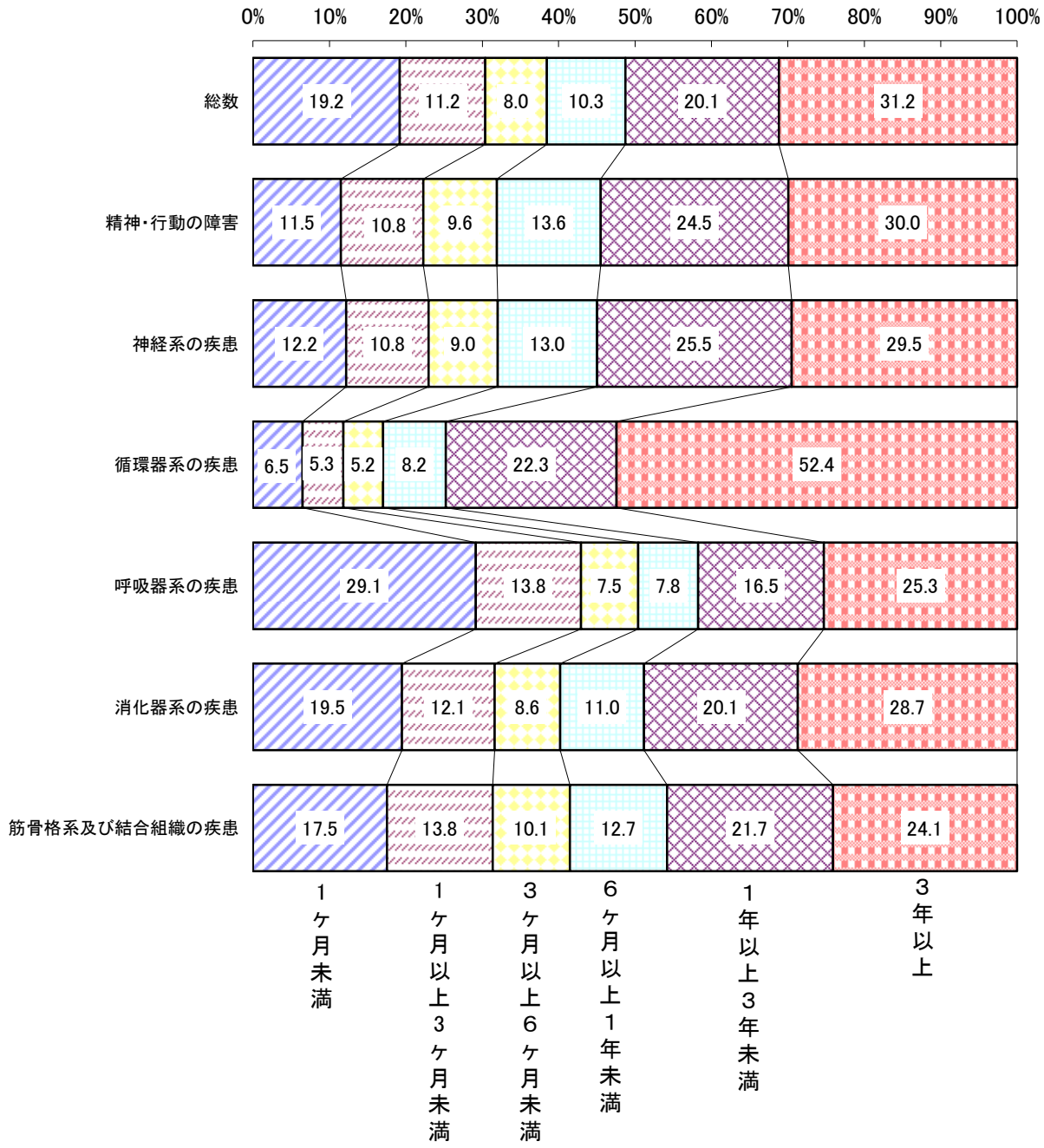
更に、入院期間を傷病分類別にみると、「精神・行動の障害」では「５年以上」が 42.6％と５割近くとなっている。また、「精神・行動の障害」、「神経系の疾患」以外の疾患においては、「３か月未満」が過半数となっている。

図３－１　一般診療件数の構成割合，傷病分類・入院期間別



一般診療件数の診療期間を傷病分類別にみると、各傷病分類とも「３年以上」が３割程度を占めているが、「循環器系の疾患」においては過半数を占めている。

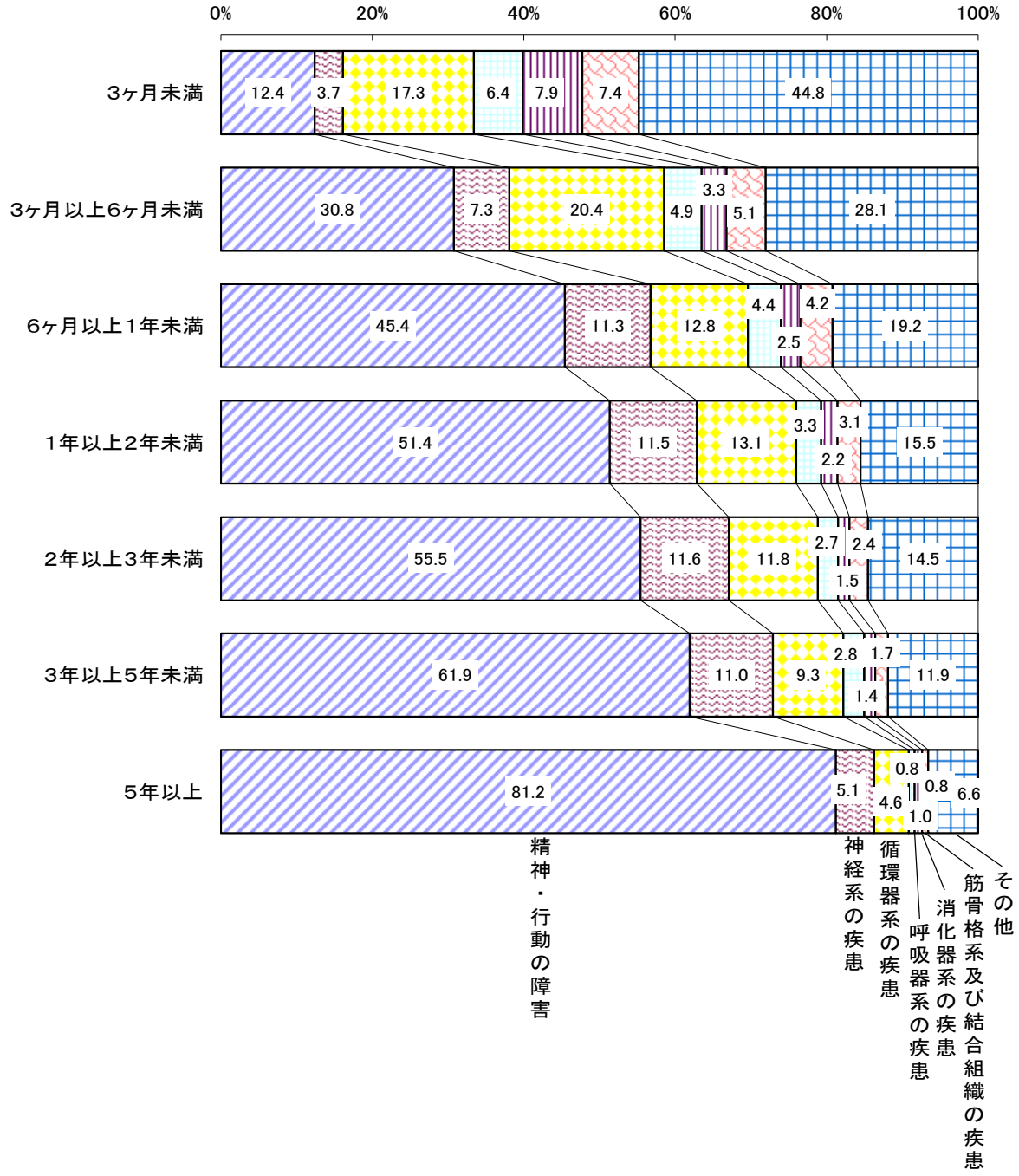
図３－２　一般診療件数の構成割合，傷病分類・診療期間別



４．一般診療件数の入院期間－診療期間・傷病分類別の状況

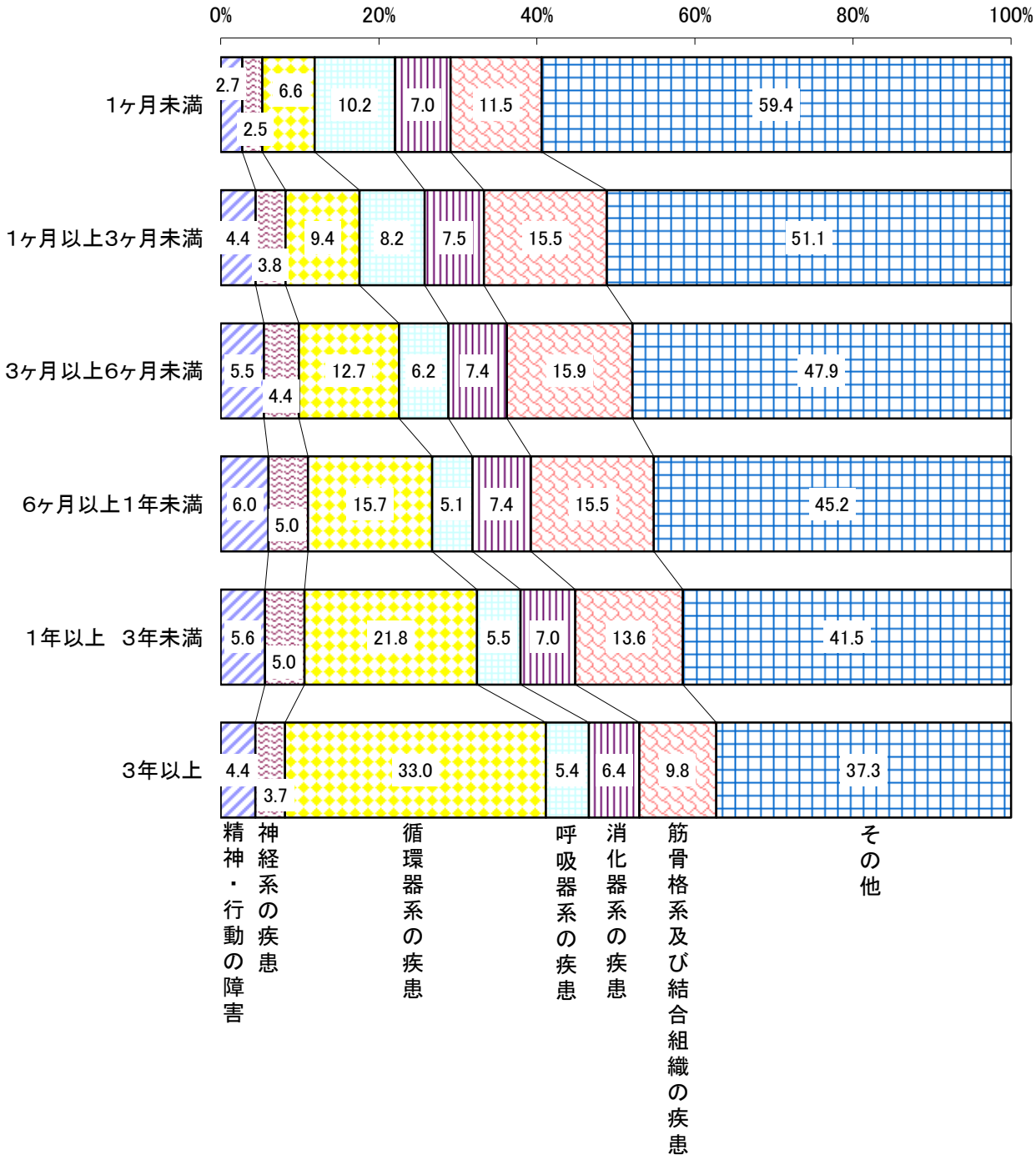
一般診療件数の入院における傷病分類別の構成割合を入院期間別にみると、入院期間が長くなるほど「精神・行動の障害」の割合が高くなる傾向にあり、「５年以上」では 81.2%となっている。

図４－１　一般診療件数の構成割合，入院期間・傷病分類別



一般診療件数の入院外における傷病分類別の構成割合を診療期間別にみると、診療期間が長くなるほど「循環器系の疾患」の割合が高くなる傾向にあり、「３年以上」では 33.0%となっている。

図４－２　一般診療件数の構成割合，診療期間・傷病分類別



５．一般診療件数の入院－入院外・病院－診療所・傷病分類別の状況

一般診療件数を病院－診療所別にみると、総数（図５－１）では、「病院」が 35.6%、「診療所」が 64.4%と診療所が多い。

これを入院－入院外別にそれぞれ病院－診療所別にみると、入院（図５－２）では「病院」が 98.3%を占めている。入院（図５－４）のうち、病院における傷病分類別構成割合は「精神・行動の障害」が 38.2%で最も多く、診療所では「循環器系の疾患」が 18.1%で「その他」以外では最も多い。

また、入院外（図５－３）では「病院」が 32.3%、「診療所」が 67.7%となっており、傷病分類別構成割合（図５－５）は「循環器系の疾患」が病院で 18.4%、診療所で 20.2%となっており、ともに「その他」以外では最も多い。

図５－１　一般診療件数の構成割合，病院－診療所別（総数）

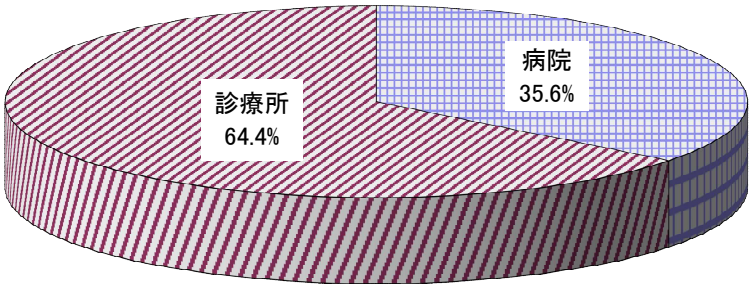


図５－２　一般診療件数の構成割合，病院－診療所別（入院）

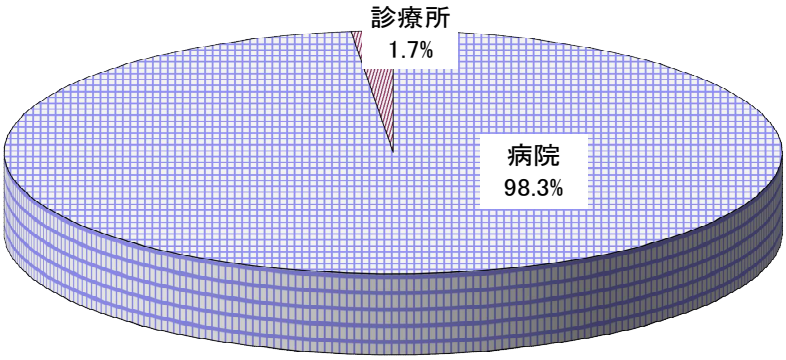


図５－３　一般診療件数の構成割合，病院－診療所別（入院外）

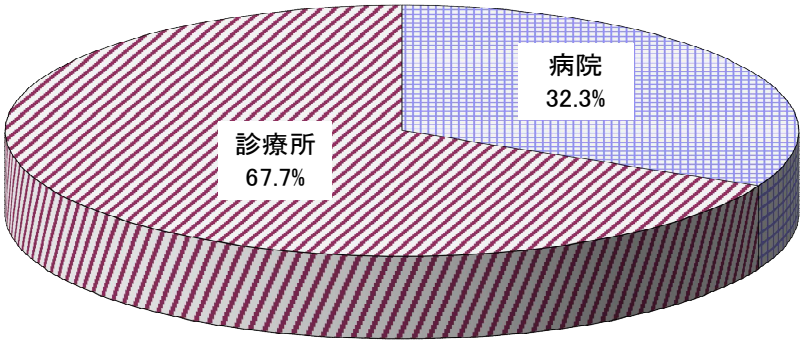


図５－４　一般診療件数の構成割合，病院－診療所・傷病分類別（入院）

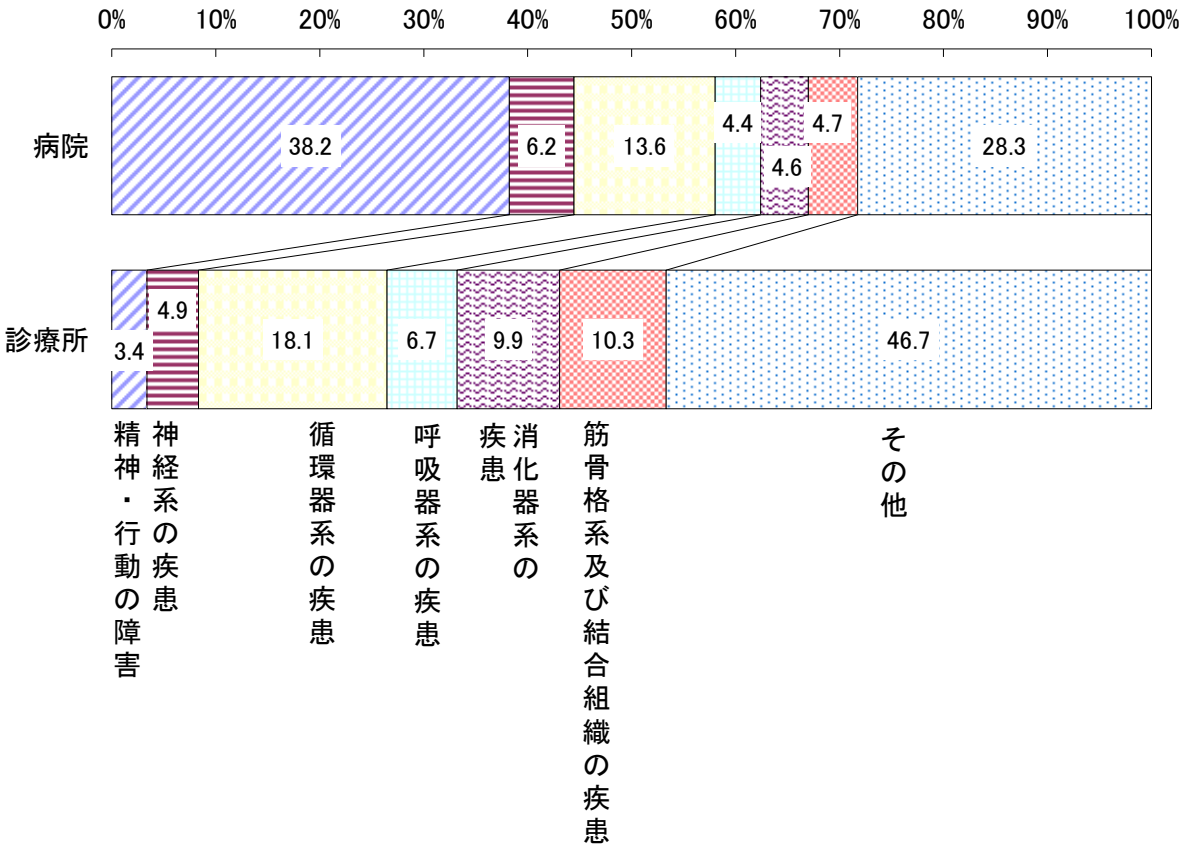
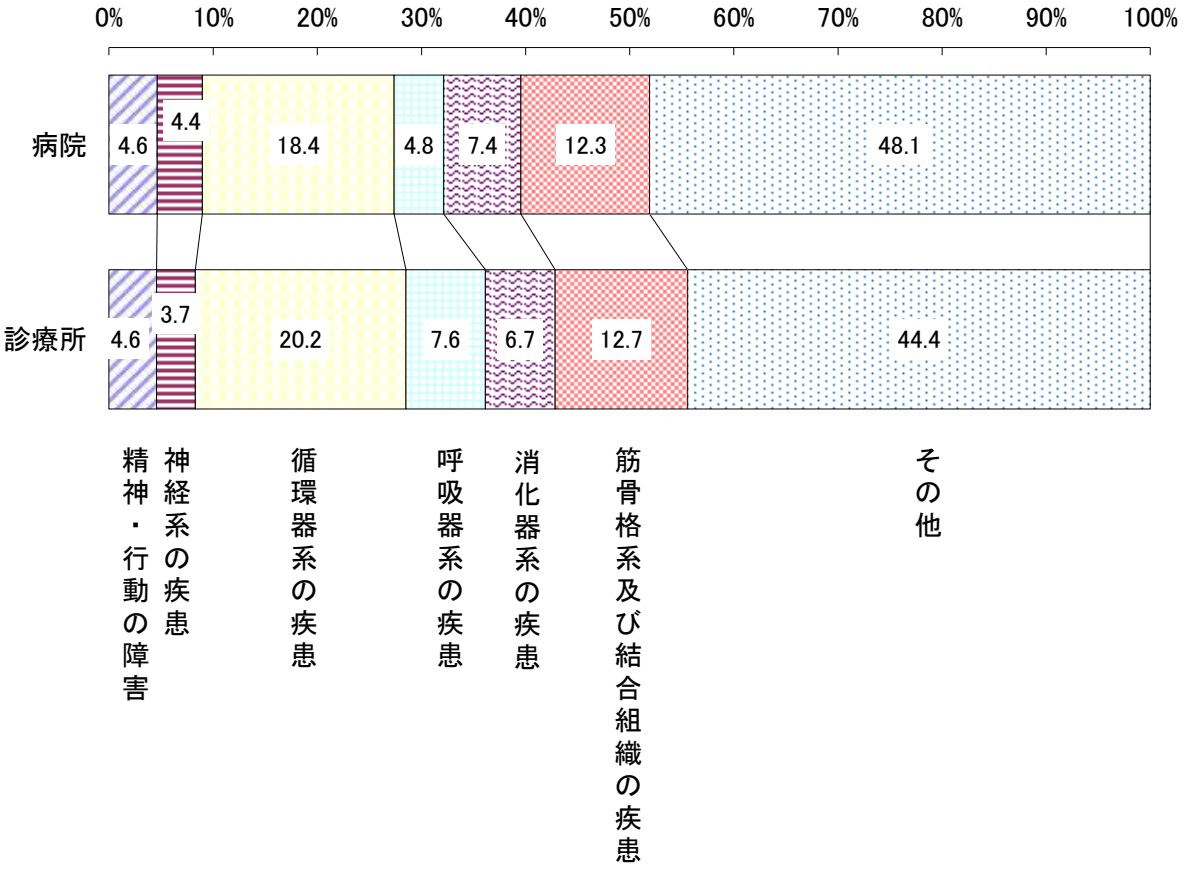


図５－５　一般診療件数の構成割合，病院－診療所・傷病分類別（入院外）



６．一般診療件数と日数と決定点数の入院－入院外・傷病分類別の状況

（１）入院

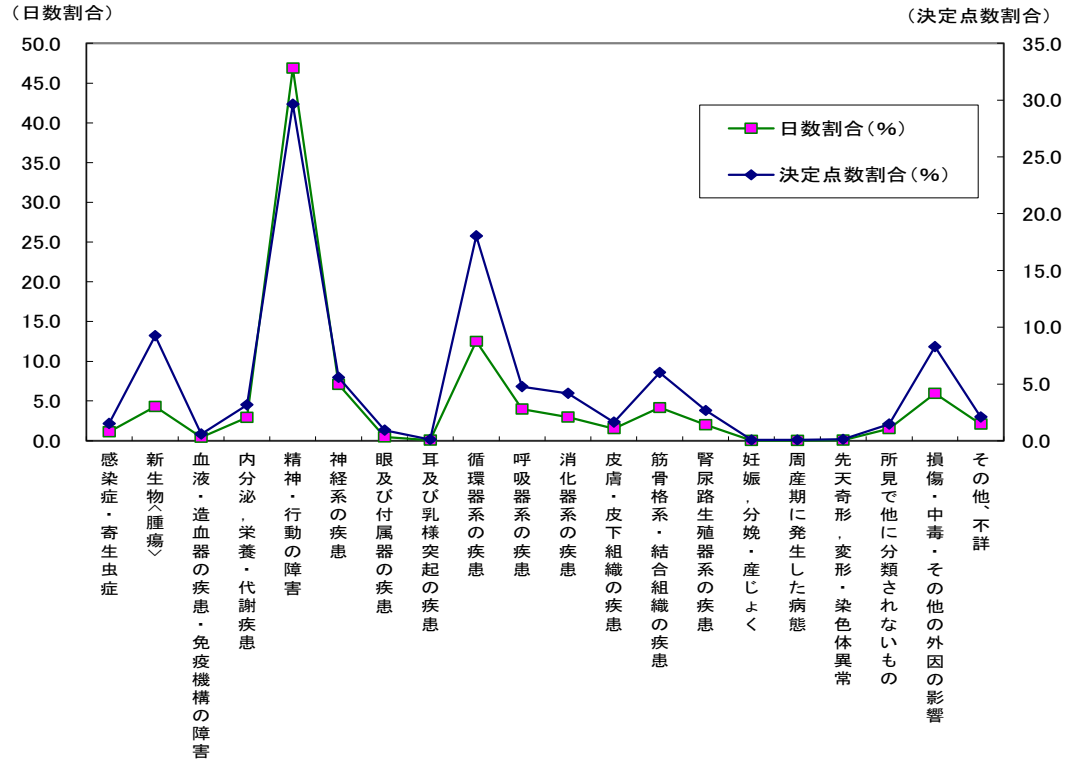
入院日数に対する傷病分類別の構成割合は、「精神・行動の障害」が 46.9%と最も多く、次いで「循環器系の疾患」が 12.5%となっている。

決定点数に対する傷病分類別の構成割合も「精神・行動の障害」が 29.6%と最も多く、次いで「循環器系の疾患」が 18.0%となっている。

表６－１　一般診療件数－日数－決定点数－構成割合，傷病分類別（入院）

	件数	日数	決定点数	日数割合（%）	決定点数割合（%）
総数	90,443	2,105,055	4,670,478,310	100.0	100.0
感染症・寄生虫症	1,111	23,149	70,448,733	1.1	1.5
新生物＜腫瘍＞	6,560	90,784	431,659,813	4.3	9.2
血液・造血器の疾患・免疫機構の障害	432	8,473	26,660,950	0.4	0.6
内分泌，栄養・代謝疾患	3,143	61,459	146,915,567	2.9	3.1
精神・行動の障害	34,043	986,603	1,384,131,110	46.9	29.6
神経系の疾患	5,601	148,838	260,037,905	7.1	5.6
眼及び付属器の疾患	1,166	9,486	43,235,180	0.5	0.9
耳及び乳様突起の疾患	113	1,247	4,269,982	0.1	0.1
循環器系の疾患	12,355	263,131	842,152,786	12.5	18.0
呼吸器系の疾患	4,006	83,711	222,832,568	4.0	4.8
消化器系の疾患	4,226	62,775	194,356,723	3.0	4.2
皮膚・皮下組織の疾患	1,387	32,386	76,178,673	1.5	1.6
筋骨格系・結合組織の疾患	4,362	87,391	280,344,259	4.2	6.0
腎尿路生殖器系の疾患	2,413	42,349	124,075,277	2.0	2.7
妊娠，分娩・産じょく	67	497	2,479,590	0.0	0.1
周産期に発生した病態	58	477	3,052,081	0.0	0.1
先天奇形，変形・染色体異常	72	1,330	5,149,802	0.1	0.1
所見で他に分類されないもの	1,385	31,340	68,454,975	1.5	1.5
損傷・中毒・その他の外因の影響	6,139	125,476	386,568,982	6.0	8.3
その他、不詳	1,804	44,153	97,473,354	2.1	2.1

図６－１　日数割合－決定点数割合，傷病分類別（入院）



注）傷病名（ＳＹ）レコードに格納されている主傷病の傷病名コードが未コードであった場合は、不詳として表章している。

（２）入院外

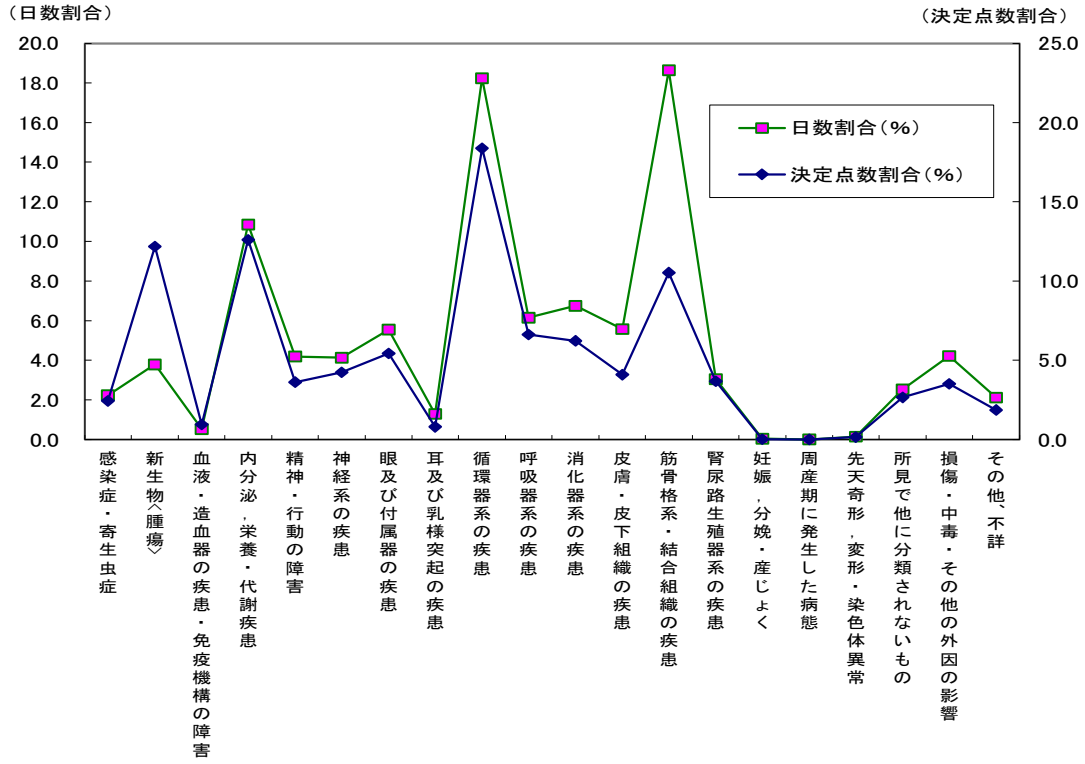
入院外診療日数に対する傷病分類別の構成割合は、「筋骨格系・結合組織の疾患」が 18.6%と最も多く、次いで「循環器系の疾患」が 18.2%となっている。

決定点数に対する傷病分類別の構成割合は、「循環器系の疾患」が 18.4%と最も多く、次いで「内分泌・栄養・代謝疾患」が 12.6%となっている。

表６－２　一般診療件数－日数－決定点数－構成割合，傷病分類別（入院外）

	件数	日数	決定点数	日数割合（%）	決定点数割合（%）
総数	1,707,545	2,983,019	3,106,178,815	100.0	100.0
感染症・寄生虫症	40,194	66,470	75,706,794	2.2	2.4
新生物＜腫瘍＞	67,162	113,170	378,558,120	3.8	12.2
血液・造血器の疾患・免疫機構の障害	9,882	15,707	29,499,771	0.5	0.9
内分泌，栄養・代謝疾患	208,017	323,652	391,379,499	10.8	12.6
精神・行動の障害	78,011	125,088	112,307,130	4.2	3.6
神経系の疾患	67,365	123,321	131,778,259	4.1	4.2
眼及び付属器の疾患	131,448	165,556	168,715,040	5.5	5.4
耳及び乳様突起の疾患	23,219	38,461	24,766,557	1.3	0.8
循環器系の疾患	335,274	543,860	570,572,555	18.2	18.4
呼吸器系の疾患	114,362	183,333	205,800,146	6.1	6.6
消化器系の疾患	118,406	201,368	193,452,399	6.8	6.2
皮膚・皮下組織の疾患	105,240	166,257	126,885,152	5.6	4.1
筋骨格系・結合組織の疾患	215,297	555,960	327,280,082	18.6	10.5
腎尿路生殖器系の疾患	57,326	90,970	114,124,734	3.0	3.7
妊娠，分娩・産じょく	663	1,071	726,943	0.0	0.0
周産期に発生した病態	203	259	252,166	0.0	0.0
先天奇形，変形・染色体異常	2,868	4,211	4,770,548	0.1	0.2
所見で他に分類されないもの	44,693	75,322	82,607,553	2.5	2.7
損傷・中毒・その他の外因の影響	58,329	125,870	109,243,473	4.2	3.5
その他、不詳	29,586	63,113	57,751,894	2.1	1.9

図６－２　日数割合－決定点数割合，傷病分類別（入院外）



注）傷病名（ＳＹ）レコードに格納されている主傷病の傷病名コードが未コードであった場合は、不詳として表章している。

７．１件当たり日数と１件当たり決定点数の入院－入院外・都道府県－指定都市－中核市別の状況

図７－１　入院の１件当たり日数

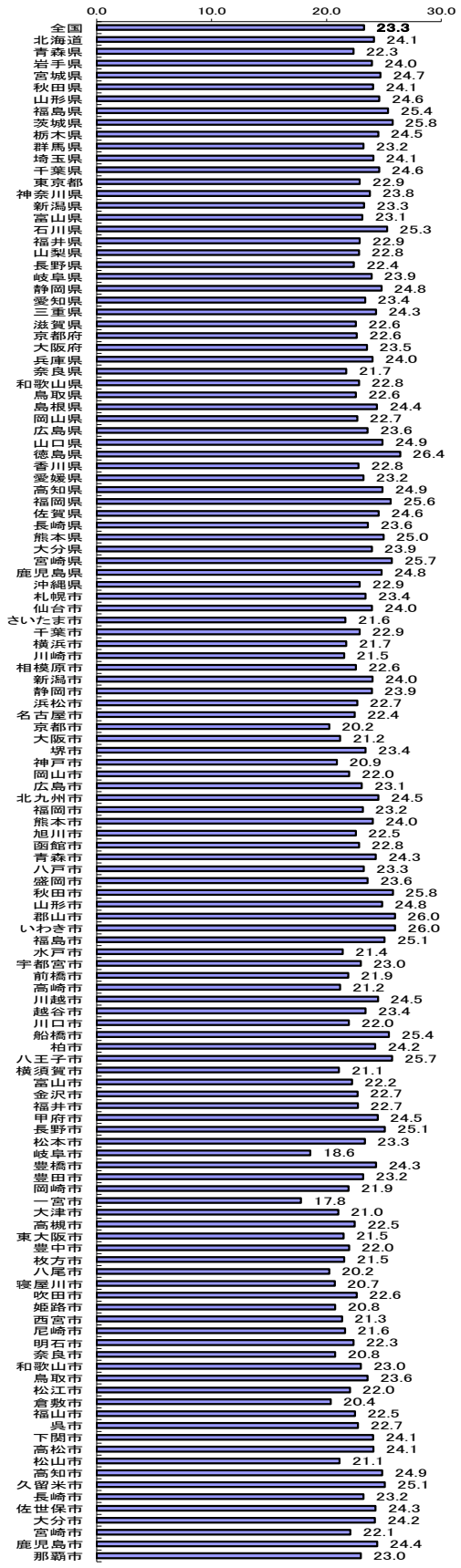
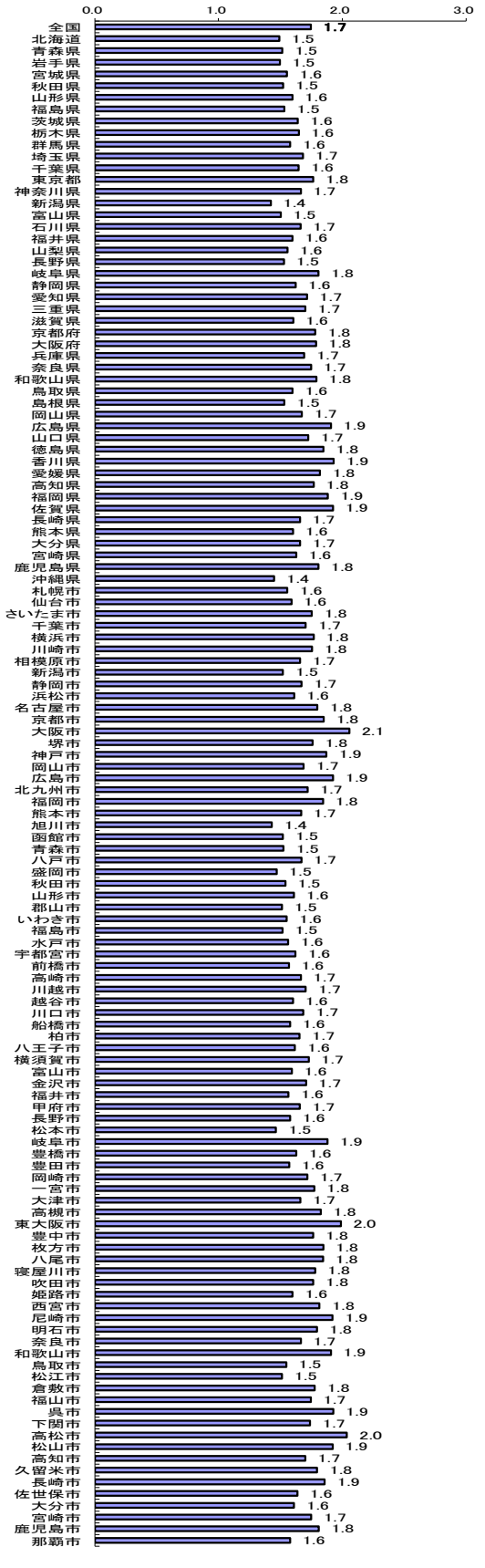


図７－２　入院外１件当たり日数



注）都道府県の数値は、指定都市・中核市分を含まない。

図７－３　　入院１件当たり点数

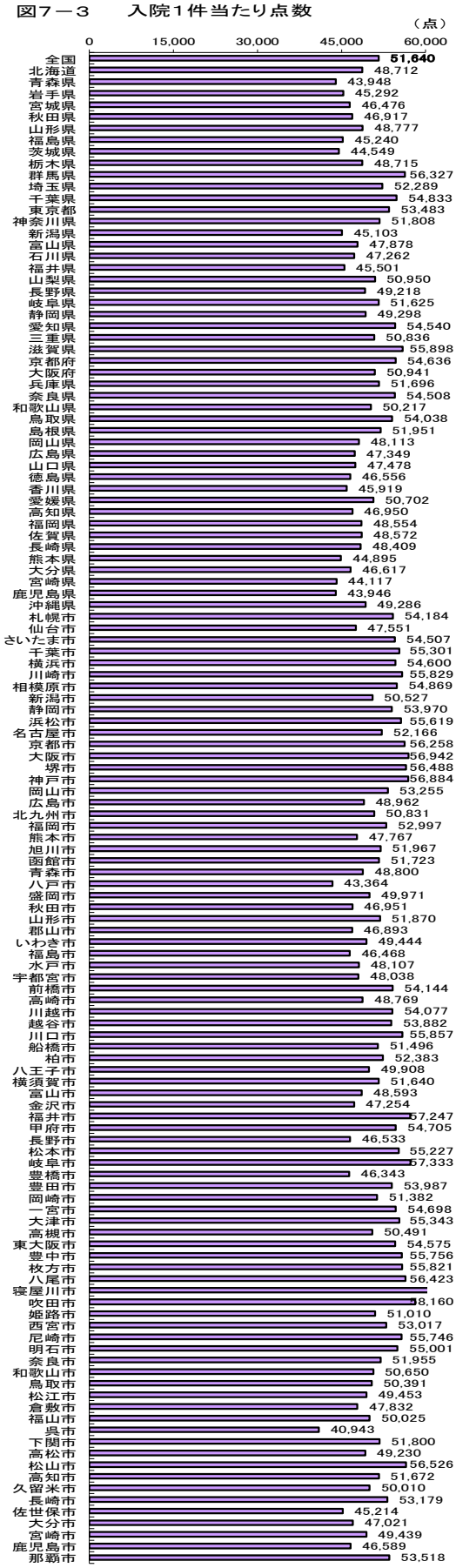
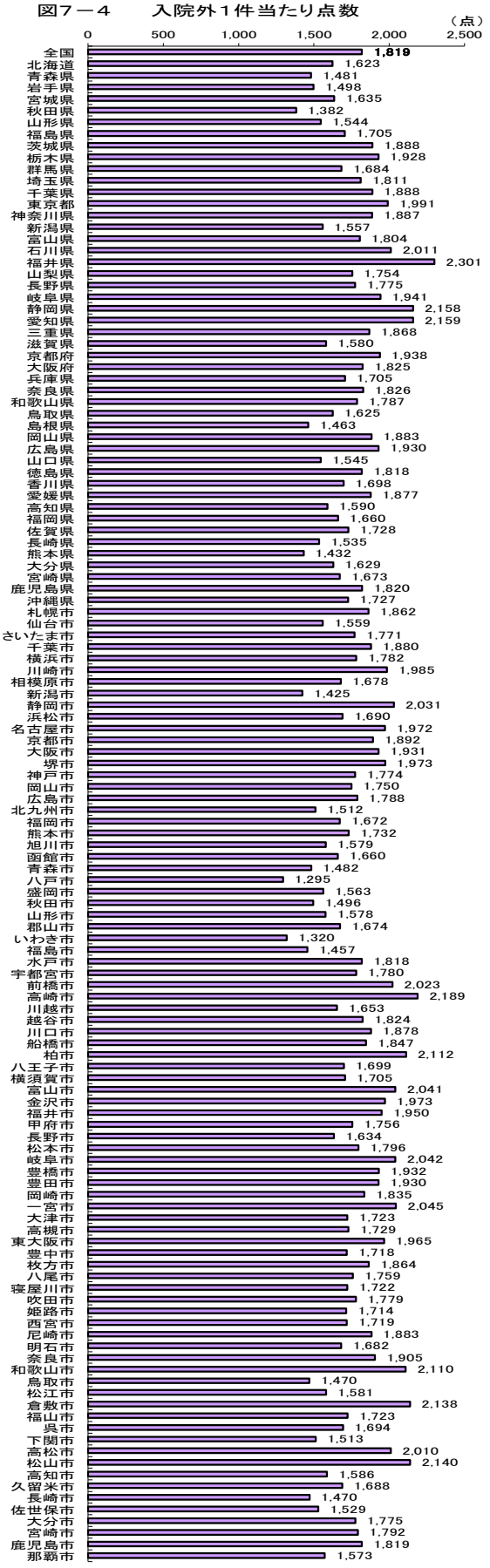


図７－４　　入院外１件当たり点数



注）都道府県の数値は、指定都市・中核市分を含まない。

８．調剤行為の状況

１件当たり点数は 1499.2 点、処方せんの受付１回当たり点数は 1116.9 点となっている。

１件当たり点数を調剤行為別にみると「薬剤料」1101.2 点が最も高く、次いで「薬学管理料」204.2 点、「調剤技術料」189.3 点となっている。

処方せん発行医療機関別にみると、１件当たり点数は「病院」2254.4 点、「診療所」1185.7 点、「歯科診療所」356.0 点、受付１回当たり点数は「病院」1767.6 点、「診療所」864.0 点、「歯科診療所」290.4 点となっており、いずれも「病院」が最も高くなっている。

表１　１件当たり点数－受付１回当たり点数－１件当たり受付回数，処方せん発行医療機関別

調剤行為	総数	処方せん発行医療機関		
		病院	診療所	歯科診療所
	1件当たりの点数			
総数	1,499.2	2,254.4	1,185.7	356.0
調剤技術料	189.3	173.9	196.6	134.4
薬学管理料	204.2	220.1	198.7	79.3
薬剤料	1,101.2	1,851.5	787.8	141.9
特定保険医療材料料	4.5	8.8	2.6	0.4
	受付1回当たりの点数			
総数	1,116.9	1,767.6	864.0	290.4
調剤技術料	141.1	136.4	143.2	109.6
薬学管理料	152.1	172.6	144.8	64.7
薬剤料	820.4	1,451.8	574.1	115.8
特定保険医療材料料	3.3	6.9	1.9	0.3
	1件当たりの点数受付回数			
	1.34	1.28	1.37	1.23

表２　点数－件数－受付回数，処方せん発行医療機関別

調剤行為	総数	処方せん発行医療機関		
		病院	診療所	歯科診療所
	点数			
総数	2,011,512,652	904,678,104	1,103,313,307	3,521,241
調剤技術料	254,036,051	69,794,410	182,912,498	1,329,143
薬学管理料	273,964,808	88,325,112	184,855,477	784,219
薬剤料	1,477,519,794	743,015,793	733,100,114	1,403,887
特定保険医療材料料	5,992,000	3,542,791	2,445,217	3,992
	件数			
	1,341,737	401,295	930,550	9,892
	受付回数			
	1,800,905	511,798	1,276,981	12,126

注：１）「薬剤料」は、調剤報酬明細書の「処方」欄に記載された用量、「調剤数量」欄に記載された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

２）令和４年度調剤報酬改定において、薬局・薬剤師業務の評価体系の見直しがあり、「調剤技術料」の一部について「薬学管理料」への再編が行われたため、令和３年以前との数値の比較には留意が必要である。

Ⅲ　用語の解説

件数

1か月ごとに提出される明細書1枚を1件としている。外来患者が当月中に入院した場合は、入院外で1件、入院で1件となり、それぞれ1件ずつ計上している。

日数

入院では当月中の入院日数のことであり、入院外では当月中の外来、往診等で医師の診療を受けた実日数のことであって、傷病の始期から転帰までの日数ではない。

決定点数

診療報酬点数表、診断群分類点数表及び調剤報酬点数表に定められている点数で、1点を10円とするものである。

薬局調剤

健康保険法等に基づく療養の給付の一環として、医療機関の保険医が患者に交付した処方せんに基づき、保険薬局において保険薬剤師が行う調剤業務をいう。

受付回数

保険薬局で当月中に処方せんを受け付けた回数をいう。

後発医薬品

新薬（先発医薬品）の特許が切れた後に、新薬とその有効成分、分量、用法、用量、効能及び効果が同一性を有するものとして承認された医薬品（いわゆるジェネリック医薬品）をいう。